

NACCS地区協議会資料

平成26年度

輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

目 次

I. 事業計画の概要	1
II. NACCSを巡る動きについて	4
1. CY搬出入業務	
2. 出港前報告制度実施への対応	
3. NACCSの海外展開	
4. 医薬品輸出入手続きシステム化の概要	
5. 次期(第6次)NACCSの開発	
III. プログラム変更について	14
IV. システム参加状況について	19
V. NACCSセンターからの情報提供について	22
【参考】 総合物流施策大綱	

I. 事業計画の概要

平成26事業年度事業計画の概要

当社は、輸出入・港湾関連情報処理システム(NACCS)を通じて、お客様の利便性の向上を図り、国際貿易と国際物流の発展、ひいては我が国の国際競争力強化に寄与することを使命とし、企業理念に基づき、全社員一丸となって、安定的なシステム運営を最優先課題として取り組めます。

また、システムの更なる利便性の向上を図るとともに、次期NACCS(第6次NACCS)の開発を進め、港湾・空港におけるより利便性の高い、「総合的物流情報プラットフォーム」の構築を引き続き推進し、常に、お客様の視点に立った事業活動を通じて国際物流の発展に貢献することを目指します。

また、経営基盤の強化に向けて資本充実に図り、出来る限り早期の株主配当を実現させ、政府による株式売却が可能となるよう、新規の国際物流業務の推進を通じ、収益を確保し、安定的な経営の維持・向上を目指します。

(企業理念)

私たちは、お客様と共に歩み、「人・物・国」をつなぐNACCSを通じて、国際物流の発展に貢献します。

平成26事業年度事業計画の概要については以下のとおりです。

<主な概要>

1. システムの安定的運用とサービス向上

- (1) NACCSを通じて、輸出入等関連業務とこれに関連する民間業務を安定的かつ効率的に提供するため、24時間365日、システムの安定運用に努めます。
- (2) お客様のニーズを十分把握し、より良いサービスを提供できるよう各種セミナーの充実を図ります。
また、NACCSの掲示板を活用したタイムリーな情報提供に努め、お客様の視点に立ったサービスの提供に努めます。
- (3) NACCSは、官民共同システムであり、多くのお客様にNACCSを利用いただくことが国際物流の効率化と進展につながることから、関係省庁とも連携をとりつつ、引き続き国際物流に携わる方々の加入促進に努めます。

2. 国際物流業務への取組み

- (1) 総合的物流情報プラットフォームの構築
当社の運営するNACCSは、官民共同のシステムとして、多くのお客様の参加の下、輸出入等関連業務とこれに関連する民間業務を提供してきたことから、これらの運営実績・経験を基礎として、港湾・空港におけるより利便性の高い、「総合的物流情報プラットフォーム」を構築していきます。
このため、平成26年度においては、薬事法関係書類の電子化などの「システムの機能向上」、NACCSに登録された情報を活用した情報提供サービス(iNACCS)などの「多角的サービスの提供」及び出港前報告制度の実施に伴い当社と契約したサービス・プロバイダーと連携した事業などの「国境を越えた電子情報交換」を推進するための調査・検討を進めます。
- (2) 出港前報告制度への対応
本年3月の出港前報告制度の実施に伴い、当社としてもサービス・プロバイダーとの契約を進めてきたところであり、引き続き制度の円滑な実施に努めます。
- (3) NACCS型システムの海外展開
国際貢献等の観点から、ベトナムにおけるNACCS型貿易関連システムの導入の実績を活かしアジア諸国におけるNACCS型貿易関連システムの導入によるシステム化の支援について、その可能性を検討します。

3. 次期NACCSの開発

次期NACCSについて、平成29年10月の稼働を目途として開発を進めていきます。平成26年度においては、引き続き専門部会等において詳細仕様の検討を進めます。

4. 経営の効率化推進

- (1) 次期NACCSの開発に加え、国際物流業務の推進等へ対応するため、組織や社員配置等の見直しを行うことにより、良質なサービスを提供するよう、効率的な業務運営に努めます。
- (2) プロパー社員が当社の中核を担えるよう、業務上必要とされる国際物流やシステム等の知識を習得するための専門研修の更なる充実を図るとともに、国際物流業務の企画・立案等に積極的に関与させます。さらに、グローバルな視点で業務を遂行できる人材を育成するために、海外研修も視野に入れた人材育成プログラムの策定に着手します。

5. 経営の透明性の確保等

リスクに対処するため、情報セキュリティや情報公開の強化等を図るほか、内部統制の充実を図ること等を通じて、コンプライアンスを遵守し、企業倫理の確保に努めます。

また、大規模災害によりシステムが停止した場合には、NACCSセンター業務継続計画(BCP)に則り、業務の継続を確保します。

Ⅱ. NACCSを巡る動きについて

1. CY搬出入関連業務

港湾物流をより効率的・正確な業務処理を実現するため、NACCSではCY搬出入関連業務のシステム化を通じて、各利用者間の情報共有が可能となるサービスをご提案しています。

(1) ブッキング情報登録業務

船会社が行うブッキング情報をNACCSで登録することにより、標準フォーマットによるブッキング情報の送受信を行うことが可能となり、船会社・CYなどにおいて作業の共有化・効率化が実現します。

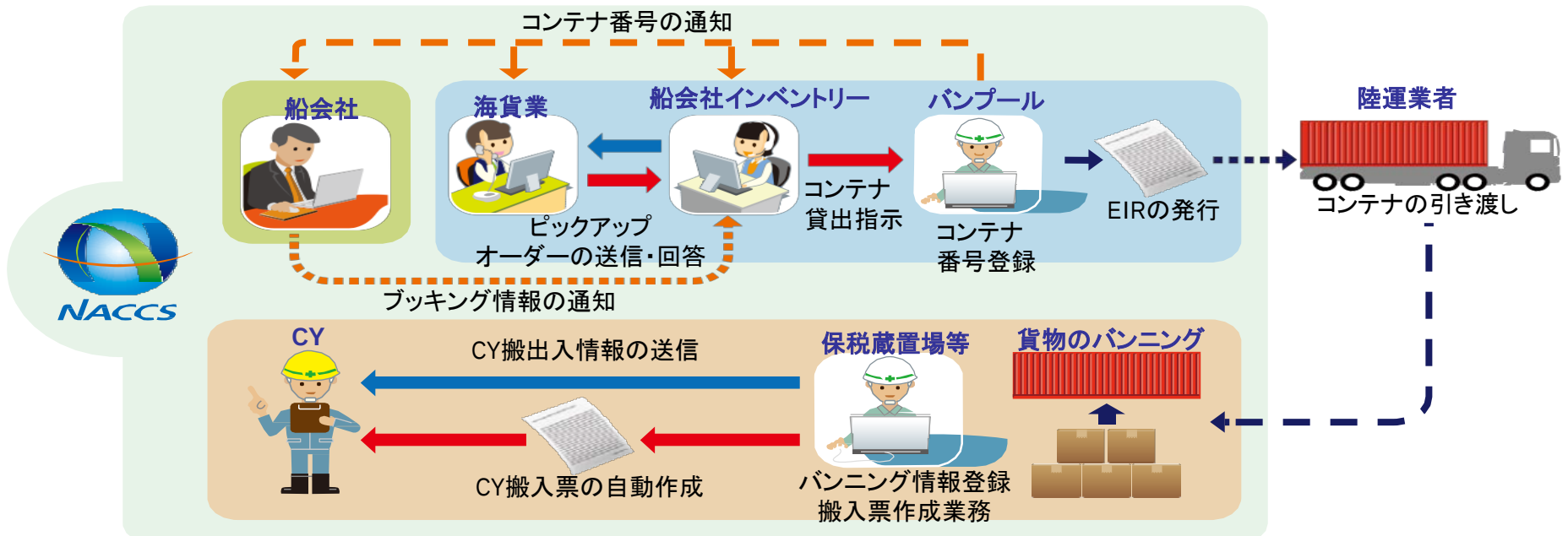
(2) 空コンテナピックアップ業務

船会社が登録したブッキング情報を活用し、NACCSでピックアップオーダーが行える業務です。ブッキング情報登録が無い場合は、空コンテナピックアップ登録からの業務実施も可能です。

(3) 搬入票作成業務

コンテナをCYへ搬入するにあたり、搬入情報を登録することで、NACCSよりCY搬入票の作成および搬入情報がCYに送信される業務です。空コンテナピックアップ業務のコンテナ情報を活用することも可能です。

業務処理フロー（登録情報の流れ）



2. 出港前報告制度実施への対応

- (1) 平成24年度の関税改正により、我が国に入港しようとする船舶に積み込まれる海上コンテナ貨物に係る積荷情報について、原則としてコンテナ貨物の船積港を船舶が出港する24時間前に、詳細な情報を、電子的に報告することが義務付けられました。

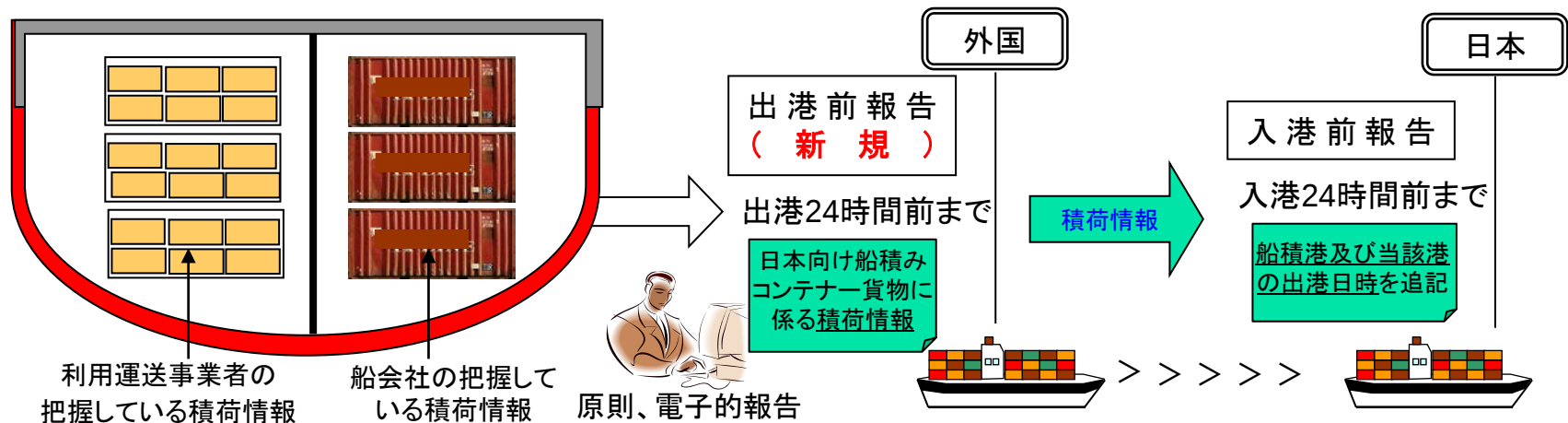
実施時期:平成26年3月 報告方法:NACCSを利用した電子的報告

- (2) NACCSセンターでは、当該制度の実施に向けて、必要なプログラムの変更を行いました。

接続方法:昨年10月より開始

- (3) 当該制度の報告義務者である海外の船会社及び利用運送事業者(NVOCC)がNACCSを利用し、海外から日本国税関に対し電子的に報告を行う仕組みを整備するため、NACCSとサービス・プロバイダーのシステムを接続することについて、サービス・プロバイダーとの接続契約を18事業者と接続契約を締結するとともに、サービス・プロバイダーと共同で中国、韓国、東南アジアや欧米の主要都市で制度、業務仕様等の説明会を開催しました。

出港前報告制度の概要



出港前報告制度に係るNACCSセンターによる海外現地説明会実施実績(平成26年2月現在)

エリア	回数(回)	参加人数(人)
東アジア(韓国、中国、台湾、ロシア)	41	3,040
東南アジア(フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア)	15	970
大洋州(豪州)	1	30
北米(カナダ、米国)	14	580
中南米(メキシコ)	2	140
欧州(オランダ、ベルギー)	4	60
合計	77	4,820

サービス・プロバイダー一覧(平成26年3月現在) 18社

サービス・プロバイダー名	本社	サービス・プロバイダー名	本社
デカルト社 (The Descartes Systems Group Inc.)	カナダ・ウォータールー	ケーエルネット社(KL-Net Corp.)	韓国・ソウル
トレードバン社 (TRADE-VAN INFORMATION SERVICES CO.)	台湾・台北	クリムゾンロジック社 (CrimsonLogic Pte Ltd.)	シンガポール
ワンシステム社(ONESYSTEM LIMITED)	中国・香港	トレードリンク社 (Tradelink Electronic Commerce Ltd.)	中国・香港
カーゴスマート社(CargoSmart Limited)	中国・香港	インターコマース社 (InterCommerce Network Services, Inc.)	フィリピン・マニラ
トレードテック社(Trade Tech, Inc.)	アメリカ・ベルビュー	イーフレイト社 (E-Freight Technology, Inc.)	アメリカ・ロサンゼルス
ケーティーネット社 (Korea Trade Network Co.,Ltd)	韓国・ソウル	コネックス社(Conex)	フランス・オルシ
サイバーロジテック社(Cyberlogitec Co.,Ltd.)	韓国・ソウル	ワイズテック社(WiseTech Global Pty Ltd.)	オーストラリア・シドニー
日本通運株式会社 (NIPPON EXPRESS Co.,Ltd.)	日本	ダガンネット社 (DagangNet Technologies Sdn Bhd)	マレーシア・クアラルンプール
山九株式会社(Sankyu Inc.)	日本	アイティス社(International Transport Information Systems Ltd.)	中国・香港

3. NACCSの海外展開

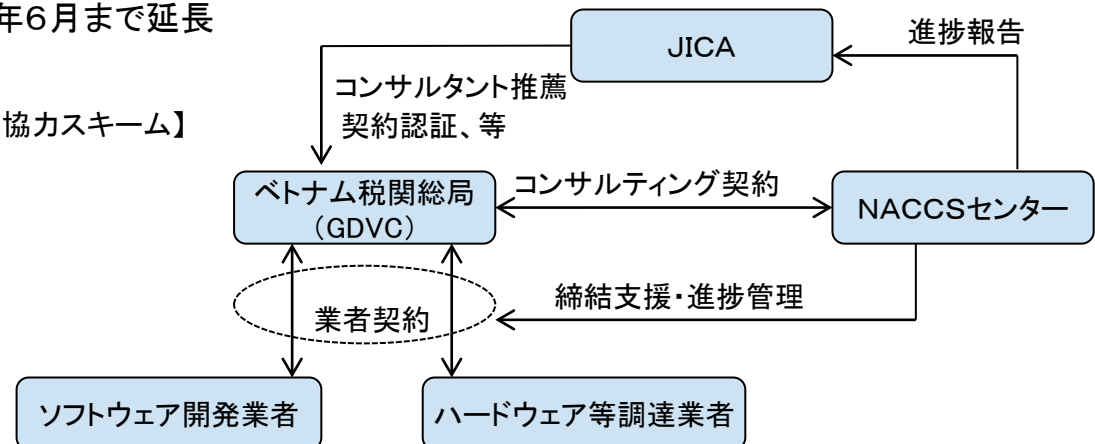
ベトナムにおけるNACCS型システムの導入に係る支援業務について

ベトナムへのNACCS型貿易手続き関連システム(VNACCS)導入については、平成26年4月の実現に向け、以下の業務を行ってきたが、4月1日より、ハノイ及びハイフォンにおいて稼働開始。今後、6月までかけて全国展開が図られる予定。

- ①ベトナム税関総局(GDVC)のコンサルタントとしてVNACCS構築業者(NTTデータ社)の業務の進捗管理等のコンサルティング業務
- ②VNACCSの導入・運用に当たりGDVCがシステム利用者の管理を適切に実施できるように、独立行政法人国際協力機構(JICA)の技術協力プロジェクトの下で、GDVCに対し技術支援業務

- ◆ 平成23年9月 「海外におけるNACCS型貿易手続き関連システムの導入に関する業務及びこれに附随する業務」に係る財務大臣の認可
- ◆ 平成24年3月 交換公文(E/N)(ベトナム国政府・日本国政府間)及び贈与契約(G/A)(ベトナム国政府・JICA間)締結
- ◆ 平成24年5月 弊社とGDVC間でコンサルティング契約締結
- ◆ 平成24年8月 ソフトウェア開発契約(NTTデータ・GDVC間) <弊社:契約のための支援>
- ◆ 平成24年10月 ハードウェア調達契約(NTTデータ・GDVC間) <弊社:契約のための支援>
- ◆ 平成24年10月以降 進捗監理会議等の業務を実施
- ◆ 平成25年4月 弊社とJICAとの間で「システム利用者管理」にかかる業務実施契約締結
- ◆ 平成26年3月 上記業務実施契約について、26年6月まで延長

【ベトナムにおけるNACCS型システムの導入に係る無償資金協カスキーム】



4. 医薬品輸出入手続きシステム化の概要

(1) 対象手続き(各手続きの事項登録・届出・報告確認・照会業務等を含む)

項番	種別	手続きの概要
i	輸入届出	薬事法上の製造販売等の許可を有する業者による輸入手続き(5万件／年)
ii	輸入報告	薬事法許可業者又はその他の業者・医療従事者・個人等による輸入手続き(7万件／年)
iii	輸出用製造輸入届出	輸出用医薬品等の製造届出手続き及び輸入届出手続き(1.5万件／年)

(2) 想定されるシステム化のメリット

<全体的なメリット>

- ①届出書の提出・返却、および輸入通関手続きにかかる時間が短縮
- ②紙の取扱量が減ることにより、保管にかかるスペースや手間が削減されるとともに、環境負荷の低減にも貢献

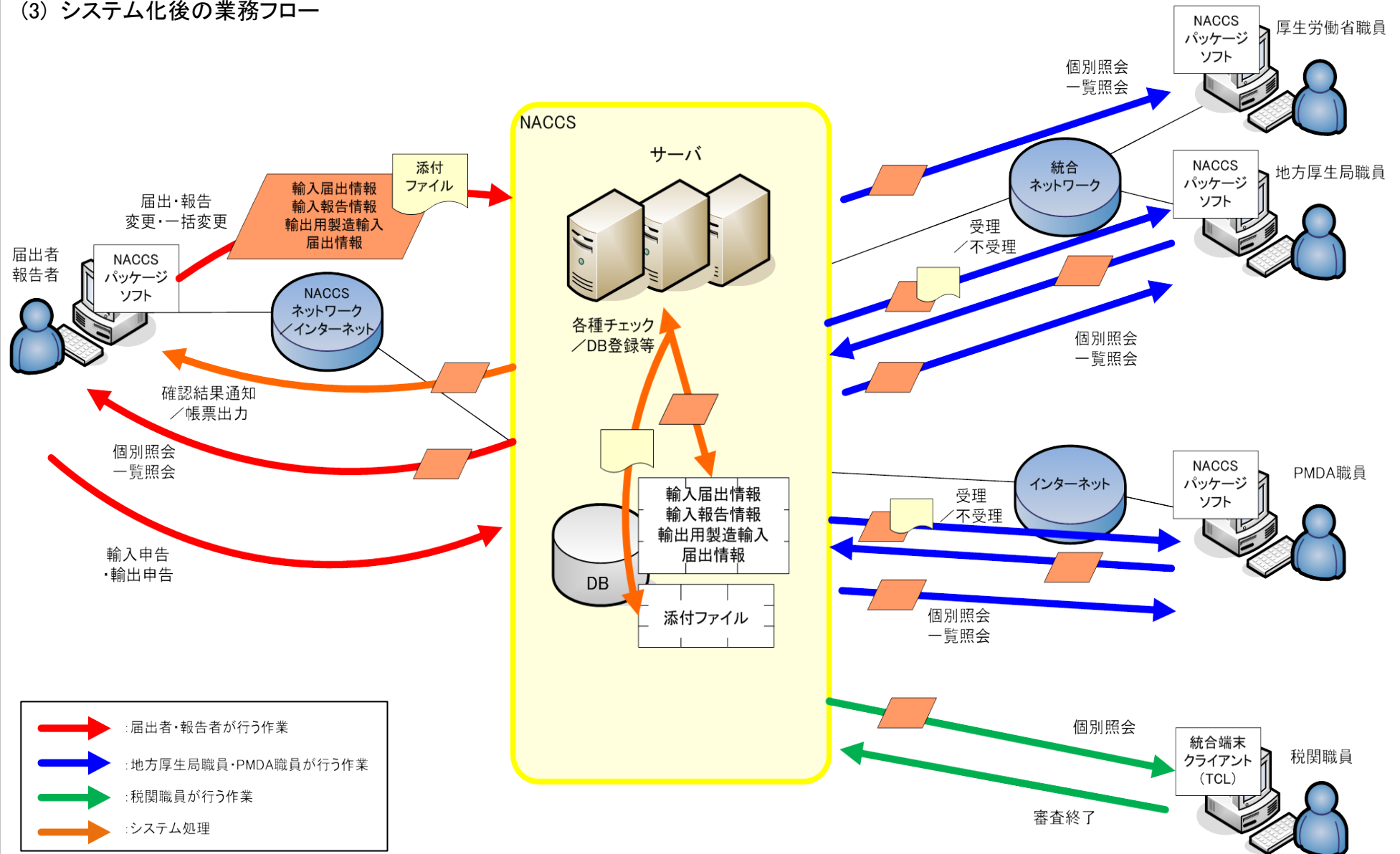
<民間利用者のメリット>

- ①届出書の提出・返却にかかる費用(郵送費、交通費等)が削減
- ②過去情報再利用やコード化等により、入力にかかる手間やミスが削減
- ③将来的に関連業務やNACCSで保持している関連情報との連携を進めることで、さらなる利便性向上が図れると想定
- ④一括変更届出業務により、有効期間更新に伴う大量の変更届出手続きが簡素化
- ⑤システムの的に利用者の認証が可能になるため、様式ごとの押印不要

<官利用者のメリット>

- ①システムの的なチェックを行うことで、確認処理時の手間やミスが削減
- ②コード化等により入力内容が統一されるため、確認処理にかかる手間が削減
- ③統計出力機能により、統計作業にかかる手間が削減

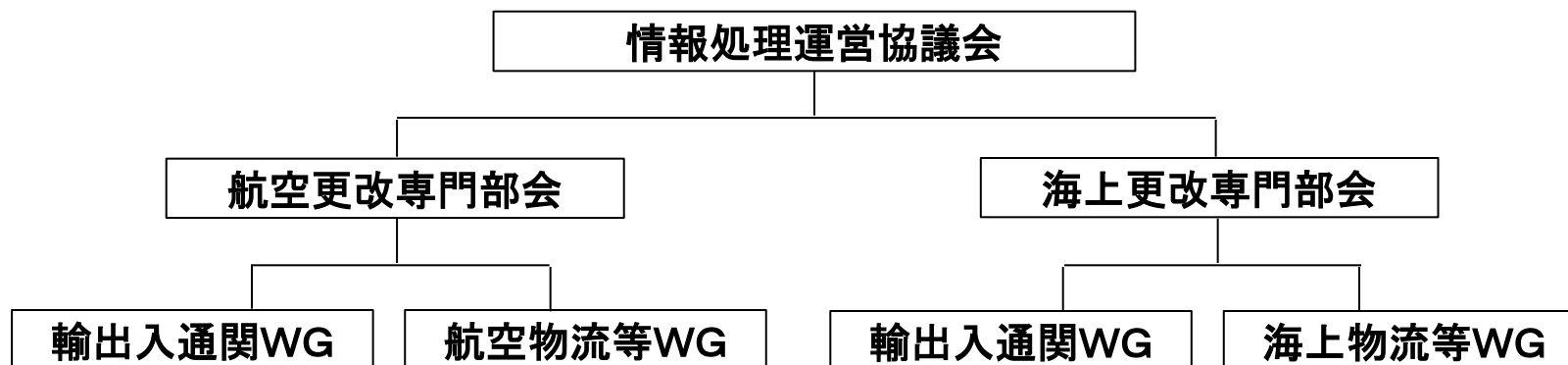
(3) システム化後の業務フロー



5. 次期(第6次)NACCSの開発

- ・現行NACCSのシステムライフを迎える平成29年10月を目途としてシステム更改を予定しています。
- ・利便性の高い「総合的物流情報プラットフォーム」を構築する観点から取りまとめた基本コンセプトを基に検討を進め、昨年3月、基本仕様を決定しました。
- ・次期NACCS(第6次NACCS)のハードウェア、ソフトウェア等の調達にあたっては、取締役社長の諮問機関として官民利用者、有識者等で構成する調達諮問委員会を設置し、昨年11月の委員会において入札仕様書がまとまりました。同年12月に入札公告を行い、本年3月に入札を行いました。不調となったため、再公告手続を経て次期NACCS開発ベンダーが6月頃に決定する予定です。
- ・平成26年度においては、引き続き専門部会等において詳細仕様の検討を進めます。

◆次期NACCS検討体制



第6次NACCS開発

官民共同利用システムとして、安定性・信頼性の高いシステム

- ・システムの安定性、信頼性を確保するシステム更改の実現
- ・情報の適正管理と情報セキュリティの確保
- ・平成22年12月10日に発生したシステム障害を踏まえ、バックアップ機能の見直し等の検討



- ・現行NACCSと同等の稼働率の確保
- ・バックアップ機能見直し
⇒システム障害時における切り替え処理の改善
- ・円滑なシステム移行

公共的インフラとして、効率性・経済性の高いシステム

- ・システムの効率性、経済性を確保するシステム構成、業務機能の見直し
- ・システム開発コストの低減化の実現
- ・関係省庁システムとの統合形態の見直し



- ・現行業務仕様・業務フローの継続利用を前提とし、業務全般の大幅な見直しは実施しない。
- ・一般競争入札による調達

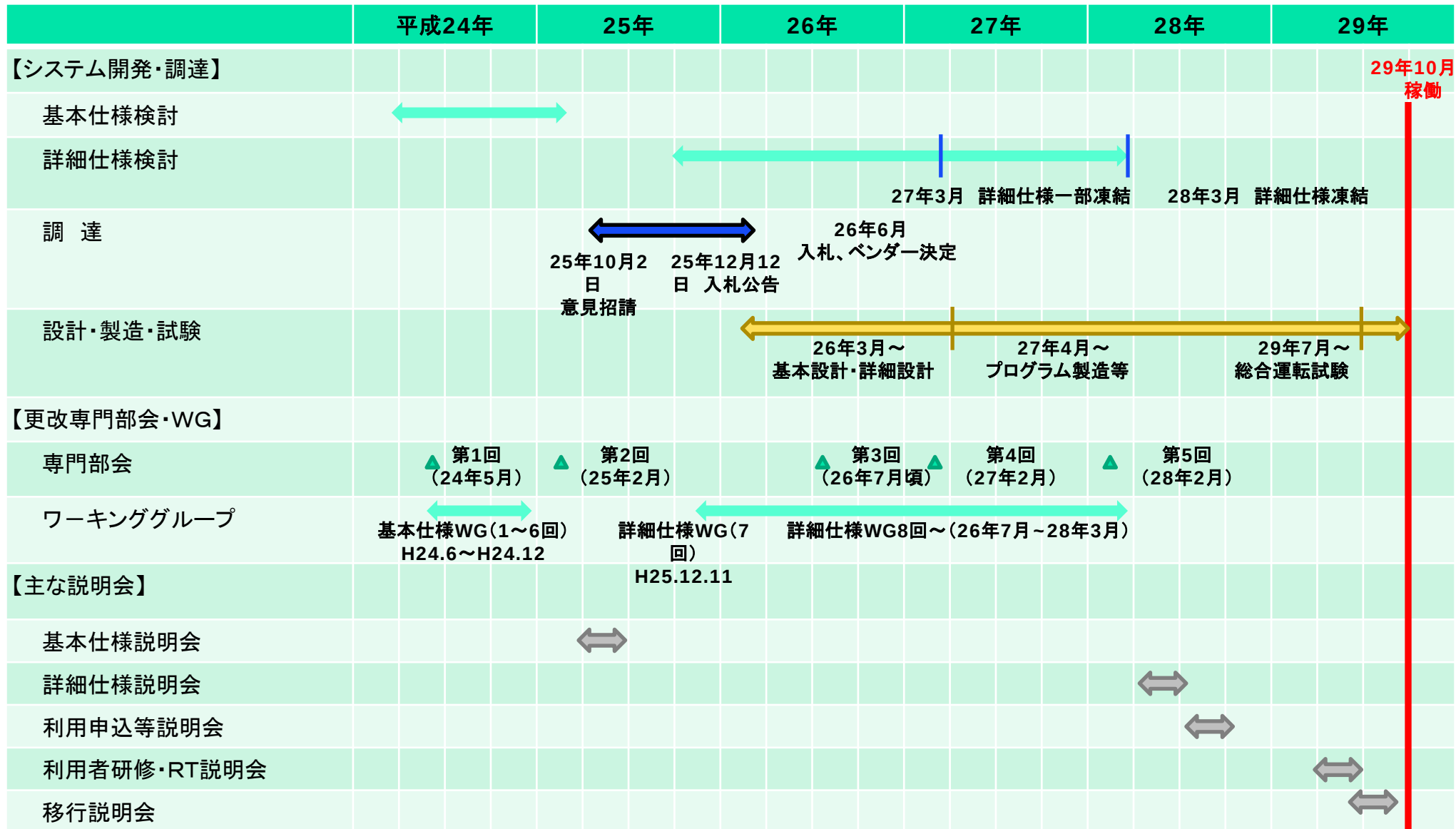
総合的物流情報プラットフォームとしての更なる機能の充実

- ・関係業界、利用者の全員参加を実現
- ・貿易関連手続きの更なるペーパーレス化の進展
- ・情報提供に特化したシステムの構築（iNACCS）
- ・BtoB、BtoGのポータルとして、国際的なシステム連携機能や民間システムとの連携強化の検討
- ・利用者インターフェース、ネットワークの充実



- ・損害保険会社の追加
- ・添付ファイル業務の見直し
- ・iNACCSの提供
- ・EDIFACT、XML等の対応
- ・WebNACCSの対象範囲の拡大

開発スケジュール（今後の予定）



総合物流施策大綱

総合物流施策大綱（2013-2017）（平成25年6月25日 閣議決定） 抜粋

2. 今後の物流施策の方向性と取組

（1）産業活動と国民生活を支える効率的な物流の実現に向けた取組

【我が国物流システムの国際展開の促進】

4) アジア諸国への税関分野の技術支援等を通じて、途上国税関の貿易関連制度・環境を近代化・高度化するとともに、我が国の輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）の海外展開を目指す。

【我が国の立地競争力強化に向けた物流インフラ等の整備、有効活用等】

4) NACCSへのコンテナ物流情報サービス（Colins）機能の反映や、これらが有する貨物情報の充実・活用促進を図り、NACCSを国際物流情報基盤の中核システムに育成する。

11) 貿易円滑化の観点から、貿易に関連する省庁への手続・民間の貿易取引における手続を含む通関関係書類の電子化・ペーパーレス化を促進する。

【輸送の安全、保安の確保】

6) 国際的な物流セキュリティ強化の観点から、平成26年3月施行予定の海上コンテナ貨物に係る出港前報告制度について、円滑に導入し適切に運用する。

中短期工程表 「安全・便利で経済的な次世代インフラの構築」

2013年度	秋	年末	通常国会	2014年度	2015年度	2016年度～
統合NACCS稼働、動植物検疫・食品輸入監視システムのNACCSへの統合			貿易関連手続の電子化推進、民間貿易取引の電子化推進とNACCS連携、通関手続きに係る電子手続の原則化			次期更改NACCS稼働

Ⅲ. プログラム変更について

1. 平成26年度プログラム変更実施

昨年末までに、利用者様から多数のご要望をいただき、関係団体へのヒアリング、財務省関税局及び税関等との協議を経て、本年1月に弊社内プログラム変更委員会において、実施予定項目を選定いたしました。概要は次のとおりです。

(1) 航空・海上システム共通(4件)

- ・「見本持出確認登録(MHO・MMO)」業務の入力時において「一時持出日時」項目欄に見本持出許可範囲外である日付についてのデータチェックを行うようプログラム変更を行います。
- ・その他、パッケージソフトのOSチェック機能追加等、計4件のプログラム変更を実施する予定です。

(2) 航空システム(1件)

「保税蔵置場別クレジット扱業者登録(UBC)」業務における最大登録件数を増設するプログラム変更を行います。

(3) 緊急プログラム変更

上記のプログラム変更項目のほか、法令改正や運用上の不都合解消等の理由により、次回運営協議会を待たずに至急プログラムの変更が必要と認められるものについては、緊急プログラム変更を実施致します。

2. 平成25年度プログラム変更実施項目等

平成25年度中にプログラム変更を実施した案件は、既定のプログラム変更11件と、緊急プログラム変更21件(うちNACCSに係るもの11件、貿易管理サブシステムに係るもの6件、港湾サブシステムに係るもの4件)となっております。

平成26年度プログラム変更項目一覧

1. 航空・海上システム共通

項番	事 項	現 行 内 容	変 更 内 容
1	見本持ち出し業務・管理資料の記帳変更	「見本持出確認登録(MHO・MMO)」業務の入力時において「一時持出日時」項目欄に見本持出許可範囲外である日付についてのデータチェック機能がないことからそのまま記帳されてしまい、登録されているか気付かないことが多い。 また、管理資料にて未登録に気が付くが、保存期間が持出期間終了日から2日間でデータ削除されてしまうため、修正入力を行うことができない。	①MHO・MMO業務において入力された「一時持出年月日」と見本持出許可の持出期間を比較し、持出期間範囲外である日付を入力した場合はエラー表示のうえ、入力不可とする。 及び ②「保存起算日」の2日後に情報を削除することなく、空欄の場合は貨物管理データの輸入許可後自動削除が行われず実施履歴等が確認できるよう、保存期間の延長を行う。
2	エラー情報の表記等の変更について	口座不足が原因ではないエラーであっても「口座不足通知情報(航空AAF021/海上SAF021)」が出力され、エラー理由も分かり難く、お客様の誤解を招いている。	エラー情報の表題や記述内容を分かり易く変更する。 また、口座使用不可のコード説明は、通知情報の下半分程度に拡大し、出力条件／形式に記載されている内容を出力することとする。 さらに、口座使用不可識別が「A～I(金融機関側エラー)」であっても問合せ先は、NACCSセンターとする。
3	輸出入申告照会業務におけるebMS処理方式による対応	輸出入申告等照会業務(IID、IEX)はebMS処理方式では利用できない。	輸出入申告等照会業務(IID・IEX)においてebMS処理方式による照会を可能とする。
4	パッケージソフトのOSチェック機能追加について	現在のパッケージソフトにはOSのチェック機能が無い。 (参考) Micro Soft社のサポート終了日 ・Windows XP : 2014(平成26年)4月9日 ・Windows Vista : 2017年(平成29年)4月11日	パッケージソフトにOSのチェック機能(推奨OS以前の端末でログオンした際に注意喚起メッセージを出力)を追加する。

2. 航空システム

項番	事 項	現 行 内 容	変 更 内 容
1	クレジット扱業者コードの最大登録件数の増設	「保税蔵置場別クレジット扱業者登録(UBC)」業務におけるクレジット扱業者の最大登録件数は200件までとなっている。 顧客各社からの登録依頼が多く、クレジット扱業者の最大登録件数を超える恐れが出ている。	1利用者に対して登録可能な保税蔵置場別クレジット扱業者の最大登録件数を増やすこととする。

※1～2 概算費用合計額 8,000(千円)

3. その他

前記プログラム変更項目のほか、法令改正や運用上の不都合解消等の理由により、次回情報処理運営協議会を待たずに至急プログラムの変更が必要と認められるものについては、緊急プログラム変更を実施致します。

なお、その結果は情報処理運営協議会にてご報告致します。

平成25年度プログラム変更実施項目

1. 既定プログラム変更

No.	事 項	リリース時期
1	「輸出・入許可情報照会 (IEX、IID)」業務の対象業種追加	2013年7月21日
2	コンテナピックアップ番号体系の変更	2013年7月21日
3	ブッキング情報の一覧表を出力する業務の新設	2013年7月21日
4	パッケージソフトにグリッド機能を追加	2013年10月13日
5	パッケージソフトのログオン中での電文移動可能化	2013年10月13日
6	パッケージソフトのページ切り替え後のカーソル移動位置変更	2013年10月13日
7	CSF (センターセットアップファイル) 組み込み機能の追加	2013年10月13日
8	デジタル証明書の更新時期到来メッセージの出力	2013年12月15日
9	パッケージソフトのWindows8.1での動作確認	2013年12月15日
10	「輸入申告事項登録 (IDA)」業務の注意喚起メッセージ追加	2014年3月16日
11	パッケージソフトのインストールデータ一括版作成	2014年3月16日

2. 緊急プログラム変更

【NACCS】

No.	事 項	リリース時期
1	通関関係書類の電子化	2013年10月13日
2	出港前報告制度のシステム化（システム稼働は3月1日から）	2014年2月16日
3	原本保存期間の変更（出港前報告制度関連）	2014年2月16日
4	AHR業務等の「仮陸揚事由コード」欄における入力可能コードの追加（出港前報告制度関連）	2014年2月16日
5	消費税増税対応	2014年3月16日
6	原紙提出が必要な通関関係書類の判定に係る変更 （通関関係書類のうち、税関窓口への原紙提出が必要な申告を判別する識別を、輸出入申告等控、輸出入申告等許可書に出力する）	2014年3月16日
7	少額輸入貨物に対する簡易税率の適用対象範囲の見直し	2014年3月16日
8	税関向け収納関連管理資料の作成方法等の変更2件	2014年3月16日
9	出港前報告制度関連の変更2件	2014年3月27日

【貿易管理サブシステム】

No.	事 項	リリース時期
1	一括輸出承認の新たな包括制度対応	2013年11月17日
2	蟹の申請様式追加	2014年3月30日
3	輸出承認（麻薬）の通達改正対応	2014年3月30日
4	事前確認申請（ワシントン）の通達改正対応	2014年3月30日
5	一括輸出承認の新たな包括制度対応	2014年3月30日
6	事前確認申請（水産物）の「種類または規格」欄へコード追加	2014年3月30日

【港湾サブシステム】

No.	事 項	リリース時期
1	港長申請に関する帳票出力追加	2014年3月16日
2	港湾管理者WEBシステムにおける各種使用料算出補助等	2014年3月16日
3	港湾管理者WEBシステムにおけるCSV出力	2014年3月16日
4	係留施設使用許可申請の呼出し機能追加	2014年3月16日

IV. システム参加状況について

1. システム契約者数【航空】

(平成26年3月末現在)

	社 数			事業所数		
	平成26年 3月末	増減 (対25.3末)	平成25年 3月末	平成26年 3月末	増減 (対25.3末)	平成25年 3月末
航空会社	93	1	92	318	10	308
航空貨物代理店	161	4	157	592	△7	599
保税蔵置場	174	4	170	369	16	353
混 載	191	13	178	596	13	583
通 関	391	58	333	711	60	651
機用品	20	2	18	31	5	26
銀 行	25	△1	26	28	△1	29
輸出入者	943	182	761	951	185	766
汎用申請者	797	41	756	1,027	48	979
合 計	2,331 (2,795)	288 (304)	2,043 (2,491)	3,435 (4,623)	325 (329)	3,110 (4,294)
対25年3月末比	114.1% (112.2%)			110.5% (107.7%)		

(注) 1. 【海・空共用】の事業所については、システム契約者数【海上】及びシステム契約者【航空】の両者に加算している。
2. 下段()書きは、業種単純合計を記載している。

2. システム契約者数【海上】

(平成26年3月末現在)

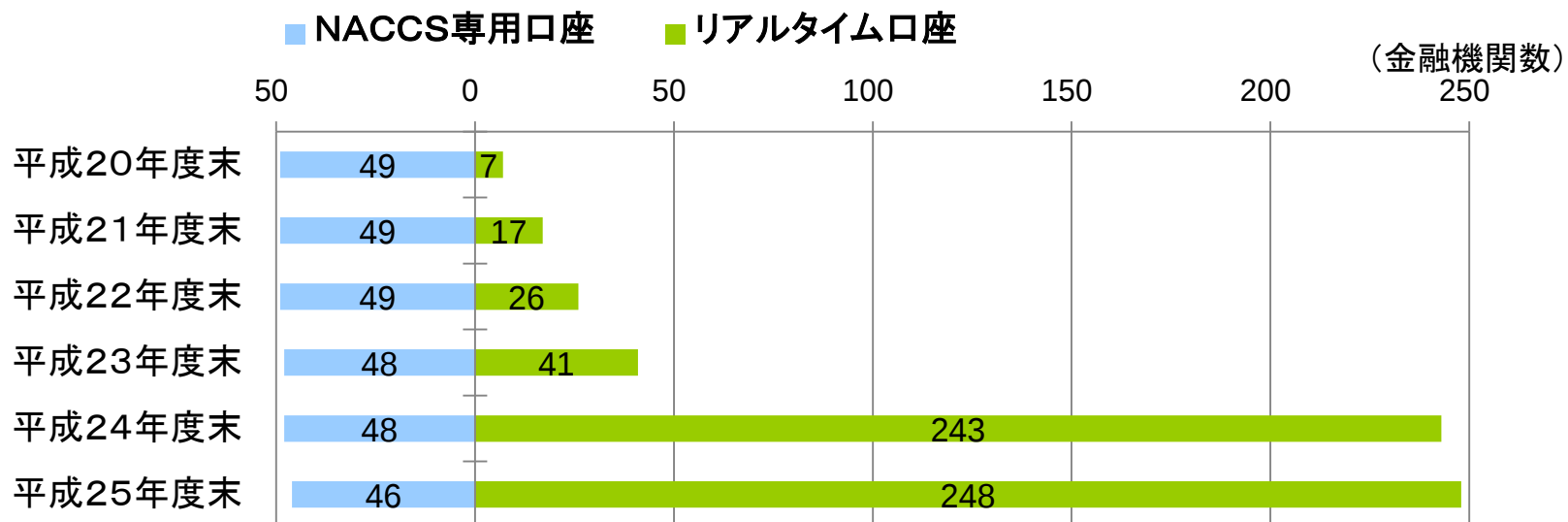
	社 数			事業所数		
	平成26年 3月末	増減 (対25.3末)	平成25年 3月末	平成26年 3月末	増減 (対25.3末)	平成25年 3月末
船 会 社	182	13	169	266	27	239
船舶代理店	896	23	873	1,594	26	1,568
C Y	424	3	421	1,082	8	1,074
保税蔵置場	1,504	19	1,485	3,379	43	3,336
NVOCC	251	129	122	443	162	281
通 関	1,151	70	1,081	2,135	87	2,048
海 貨	295	58	237	696	97	599
銀 行	46	△2	48	49	△2	51
輸出入者	1,030	184	846	1,085	188	897
汎用申請者	797	41	756	1,027	48	979
バンプール	2	0	2	4	0	4
合 計	4,637 (6,578)	408 (538)	4,229 (6,040)	8,425 (11,760)	508 (684)	7,917 (11,076)
対25年3月末比	109.6% (108.9%)			106.4% (106.2%)		

(注) 1. 【海・空共用】の事業所については、システム契約者数【海上】及びシステム契約者【航空】の両者に加算している。

2. 下段()書きは、業種単純合計を記載している。

3. 平成23年6月から新たな業種として「バンプール」が追加された。

(参考)NACCS登録金融機関(NACCS専用口座・リアルタイム口座)



～ リアルタイム口座振替方式(ダイレクト方式)のメリット ～

- ◆ NACCS専用口座不要
関税等の納付のためだけに利用するNACCS専用口座の開設が不要となります。
- ◆ 関税等の振り替え可
一般口座から関税等を振り替えることができます。(インターネットバンキングにも対応)
- ◆ 自由に入出金可能
一般口座であるため、資金について自由に入出金することが可能となります。
- ◆ 残高不足にも即時に対応
開設口座の資金を積み増した場合、即時に反映するので残高不足が発生した場合に即時に対応することが可能となります。
(NACCS専用口座は翌日に反映)
- ◆ 振替完了通知書の出力が可能
口座振替完了を示す個別の帳票を、希望する申告者様向けに出力することができます。

V. NACCSセンターからの情報提供について

NACCS掲示板は平成25年9月25日にリニューアルしました！



NACCS 公式ホームページへ

TOP NACCSのご利用方法 申込手続 (NSS) NACCS業務仕様・関連資料 よくある問合せ

人・物・国をつなぐ
「総合的物流情報プラットフォームシステム」としてのNACCSを通じて、
国際物流の発展に貢献します。

航空運送貨物
を取り扱われるお客様へ

海上運送貨物
を取り扱われるお客様へ

NACCS 運転状況メール
配信サービス

ピックアップメニュー

- 業務コード集
- パッケージソフト デジタル証明書
- netNACCS端末 (パソコン) 入替方法
- ACL
- CY搬出入業務
- リアルタイム口座振替方式 (ダイレクト方式) 等申込み
- 電算関係税関業務事務処理要領

出港前報告制度

運転状況

稼働時間 <24時間> (計画停止を除く) 16:30 現在 / 正常運転中

新着情報

航空 海上 共用 税関 関係省庁

NACCS 開港等のリアルタイム口座振替方式 (ダイレクト方式) 対応金融機関のサービス提供
時間の変更について (2014年3月28日)

NACCS 【通関業者の皆様へ】 年度替わりにおける業務処理上の留意事項について (2014年3
月28日)

港湾管理者 港湾管理者からのお知らせ (2014年3月26日)

NACCS 貿易管理サブシステムの機能改善について (2014年3月24日)

NACCS 貿易管理サブシステムの機能改善に伴う一時運転停止について (2014年3月24日)

税関 税関発給コード (税関輸出入者コード・仕出人・仕向人コード) を更新しました。
(2014年3月24日)

NACCS 【通関業者の皆様へ】 消費税増徴における留意事項について (2014年3月19日)

NACCS 業務コード集更新のお知らせ (2014年3月18日)

NACCS 【通関業者の皆様へ】 業務関連コードの変更について (2014年3月17日)

税関 電算関係税関業務事務処理要領 (税関手続関連) を更新しました。 (2014年3月17
日)

RSS Atom >>新着一覧

関係省庁更新情報 関係省庁等ホームページ
各関係省庁からの更新情報をご紹介します。

- NACCSセンター
- 財務省 税関
- 厚生労働省 検疫所 (食品)
- 農林水産省 動物検疫所
- 農林水産省 植物防疫所
- 経済産業省 貿易経済協力局
- 法務省 入国管理局
- 厚生労働省 検疫所 (検疫)
- 港務
- 港湾管理者
- 海上保安官署
- 海上交通センター
- 地方運輸局

1. 統合による情報の一元化

- ・府省共通ポータルホームページ廃止に伴い、関連するすべての情報がNACCS掲示板へ移行・統合されました。
- ・パッケージソフト、事務処理概要及び業務コード集はNACCS掲示板にて一元的に提供しております。

2. 操作性の向上

- ・アクセスルート等を見直して、タブ・ラベルを活用し、より使いやすくなっております。
- ・コンテンツにバナー (出港前報告制度、NACCSサポートシステム等) を配置し、視覚的にも情報を見つけやすくなっております。

3. 利便性の向上

- ・運転状況について、トップ画面中央に配置することにより、障害情報等を容易に把握できます。
- ・利用申込手続等の電子申請に関する情報や業務仕様に関する情報を各一ヶ所に配置し、情報検索が分かりやすくなっております。

V. NACCSセンターからの情報提供について

1. 掲示板掲載情報

(1) 出港前報告制度掲示板

出港前報告制度に基づく海上コンテナ貨物にかかる積荷情報を日本国税関に報告するにあたり、報告義務者等がNACCSを利用するために必要な情報等を「出港前報告制度掲示板」にとりまとめ、英語版、日本語版で以下の情報等を提供しています。

- ・ 日本国税関からのお知らせ（NACCS障害時の対応方法等のお知らせ）
- ・ サービスプロバイダー一覧（18社（H26.3現在）の連絡先等の情報）
- ・ 申請者ID発給システム（申請者IDの発給業務）
- ・ 業務仕様書、業務コード集、FAQ、各種説明会資料 等

(2) 各種セミナー資料 等

NACCS業務の各種マニュアルとして、以下の情報等を提供しています。

- ・ NACCS業務の業務仕様書（業務コード毎に検索が可能）
- ・ 電算関係税関業務事務処理要領【税関手続関連】（NACCSによる手続運用等の情報）
- ・ 各種セミナー資料（通関・保税業務の初任者向講習会用資料、照会業務・便利機能の活用方法 等）
- ・ よくある問合せ 等

(3) NSS電子申請情報ページ

平成25年10月よりNACCSの利用申込等の手続きは、NACCSサポートシステム(NSS)により、電子申請で受付をしています。NSSは、NACCSを利用するための各種申込手続、システム設定、料金請求、登録情報の照会等を電子的に行うシステムです。本ページには、NSSの操作方法をはじめ、以下の情報を提供しています。

- ・ NSSについて（操作マニュアル、説明会資料）
- ・ NSSの利用方法（利用申込・システム設定の入力例、入力前に予め確認いただきたい項目 等）
- ・ NACCSの利用にあたって（NACCSの利用形態の概要、申込スケジュール 等）
- ・ NACCSの利用料金について（システム利用料金、料金表通則、料金プランに関する説明）
- ・ お知らせ（システムメンテナンスに伴う利用制限などNSSの利用に関する各種お知らせ）

V. NACCSセンターからの情報提供について

2. よくある問合せに対する情報

(1) デジタル証明書を更新について

デジタル証明書には有効期限(1年)が設けられています。

有効期限日の1か月前(28日前)から、netNACCSソフト起動時にデジタル証明書の更新を促すメッセージ(「W801: デジタル証明書の有効期限の〇日前です。」)が表示されますので、速やかに更新作業を行うようお願いします。

デジタル証明書の更新ができなかった場合は、デジタル証明書の再発行が必要です。

詳細につきましては、NACCS掲示板ピックアップメニューの「デジタル証明書の更新について」を参照ください。

(2) netNACCS端末(パソコン)の入替方法について

netNACCS端末を変更(入替)する場合は、次の手順より4作業を行ってください。

- ① デジタル証明書の再発行を依頼
- ② 新規端末にてデジタル証明書を再取得
- ③ netNACCSパッケージソフトのダウンロード、インストールの実施
- ④ 電文等の保存データの移行

詳細につきましては、NACCS掲示板ピックアップメニューの「netNACCS端末(パソコン)の入替方法について」を参照ください。

(3) NACCSパッケージソフトの推奨OSについて(Windows 2000、Windows XPの削除、Windows 8の追加)

NACCSパッケージソフトの動作環境については、EDI仕様書に記載しています。

「Windows 2000」、「Windows XP」についてはマイクロソフト社がサポートを終了したことにより、推奨OSから削除しています。

「Windows 8」、「Windows 8.1」については、平成26年1月24日より、推奨OSに追加しています。

詳細につきましては、EDI仕様書の7.1 ハードウェアの動作環境等を参照ください。

3. システム障害時の情報

NACCSに障害が発生した場合には、障害発生時から事象の回復までの復旧状況等をNACCS掲示板の「運転状況」と「運転状況のお知らせ」でお知らせしますので確認ください。

なお、運転状況につきましては、NACCS掲示板から登録いただき、運転状況に関する情報をメール配信する「運転状況メール配信サービス」を実施しております。こちらの登録にご協力をお願いします。

V. NACCSセンターからの情報提供について

4. Web配信(RSS/Atom)

NACCS掲示板ではWeb配信(RSS/Atom)により、「新着情報」を提供しています。

更新のタイミングでパソコンやスマートフォンでもリアルタイムに情報確認できますので活用ください。メールソフトのほかRSSリーダーやブラウザでの受信も可能です。

RSS/Atomについては、NACCS掲示板の「ご利用案内」下記URLを参照ください。

<http://www.naccscenter.com/use.html>

The image shows a screenshot of the NACCS Center website's 'New Information' (新着情報) section. The page lists various updates, including system changes and code updates. A red arrow points from the 'New Information' section to a diagram illustrating the distribution of information via RSS and Atom feeds to a laptop and a smartphone. A green callout box states: '掲示板の更新内容を随時配信' (Distributing bulletin board update content at any time). Another green callout box states: 'パソコンやスマートフォンでの受信が可能' (Reception possible on PC or smartphone). The diagram also shows icons for RSS and Atom feeds.

海上運送貨物
を取り扱われるお客様へ

NACCS 運転状況メール
配信サービス

ピックアップメニュー

- ✓ 業務コード集
- ✓ パッケージソフト
デジタル証明書
- ✓ netNACCS端末 (パソコン)
入替方法
- ✓ ACL

新着情報 | NACCS掲示板

新着情報

[業務コード集更新のお知らせ](#)
2014年4月1日 19:46

下記業務コードを2014年4月1日付で更新しました。・保税地域コード・利用者コード [海上/航空]・船会社コード (SCAC)・輸出入者コード (JASTPRO発給)・5_NACCS用品目コード (輸入)・21_内国消費税等種別コード (輸入)・32_航空会社コード [航空]・33_国連LOCODE [海上]・45_/バスコード [海上] 業務コード集はこちらからご覧ください。

[汎用申請関係一覧表を更新しました。](#)
2014年4月1日 11:10

RSS **Atom**

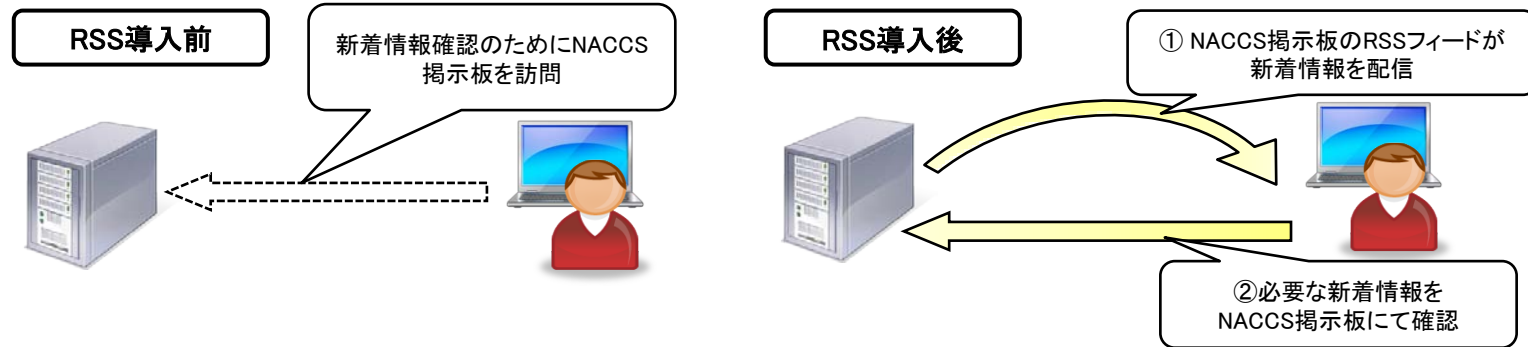
掲示板的更新内容を随時配信

パソコンやスマートフォンでの受信が可能

RSSとは

RSSとは、Webサイトの記事や見出しを配信するための技術です。

NACCS掲示板トップページのお知らせでは、RSS/Atomフィードを使って、新着情報の見出しと記事リンクを広く公開しています。



RSSの設定方法

RSSを設定するにはRSSリーダーが必要となります。代表的なRSSリーダーの導入事例をご紹介します。

＜ブラウザ・メール型 ※Internet Explorer8の場合＞

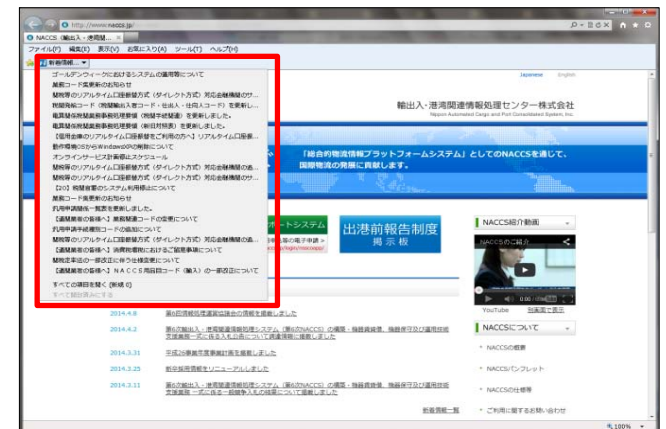
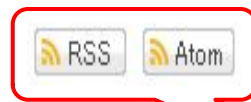
①RSS・AtomのアイコンをクリックするとRSS・Atomページが開きます。

②「このフィードを購読する」をクリックすれば登録されます。

新着情報 | NACCS掲示板

頻繁に更新されるコンテンツを含むフィードを表示しています。フィードを購読すると、そのフィードは Common Feed List に追加されます。フィードからの更新情報は自動的にコンピューターにダウンロードされて、Internet Explorer や他のプログラムで表示することができます。フィードについての詳細を表示します。

 このフィードを購読する



③購読したフィードを「お気に入りバー」に追加すればNACCS掲示板を訪問せずに新着情報を確認することができます。

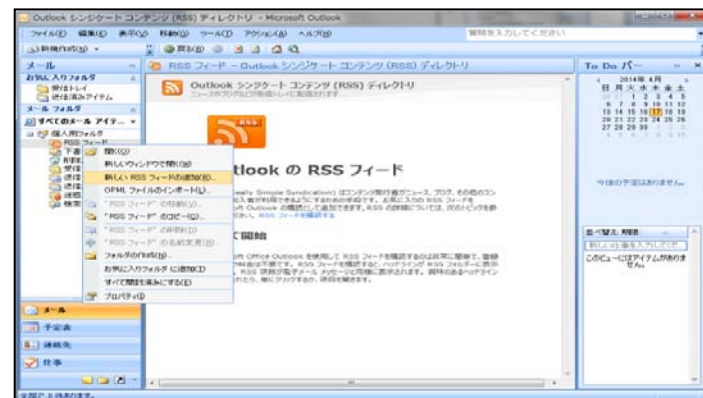
※Google Chromeでは、初期設定のままではRSSフィードを扱うことができません。RSSフィードを扱うには、Google Chrome用の拡張機能である「RSS Subscription Extension (by Google)」が必要となります。

<ブラウザ・メール型 ※Outlookの場合>

- ① Outlook内の「RSSフィード」を右クリックして「新しいフィードの追加」をクリックします。
- ② 「<http://www.naccscenter.com/shinchaku/index.rss>」を追加します。

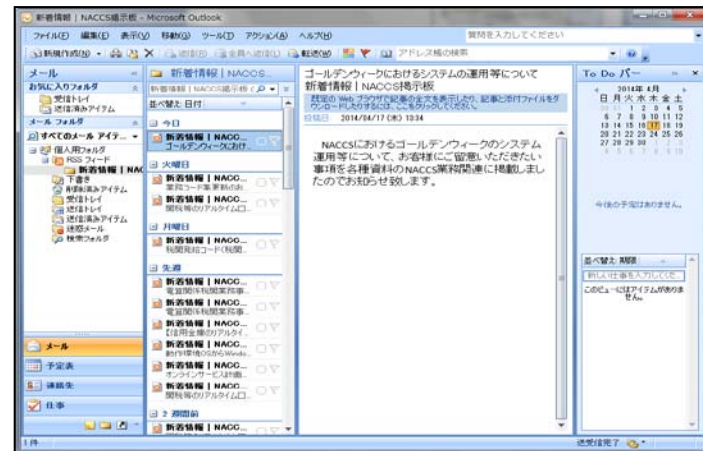


- ③ Outlook内の「RSSフィード」にて新着情報を確認することができます。



<独立型>

- ① お持ちのスマートフォン、タブレット端末にRSSリーダー専用のアプリケーションをインストールします。
- ② 「<http://www.naccscenter.com/shinchaku/index.rss>」を登録します。
- ③ インストールしたアプリケーションにて新着情報を確認することができます。



NACCs掲示板	
ゴールデンウィークにおけるシステムの運用等について 2014/04/17 13:33	☆
業務コード集更新のお知らせ 2014/04/15 13:35	☆
関税等のリアルタイム口座振替方式(ダイレクト方式)対応金融機関のサービス提供時間の変更について 2014/04/15 10:20	☆
税関発給コード(税関輸出入者コード・仕出人・仕向人コード)を更新しました 2014/04/14 11:01	☆

NACCsゴールデンウィークにおけるシステムの運用等について

NACCsにおけるゴールデンウィークのシステム運用等について、お客様にご留意いただきたい事項を各種資料のNACCs業務関連に掲載しましたのでお知らせ致します。